

飛鳥 高等学校 令和6年度（1年次用）教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1年次 1組～6組

使用教科書（『精選 現代の国語』（東京書籍））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元 評論 自己と他者 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・評論を読み、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉を届けることについての筆者の考えを読み取ったうえで、自らの経験に照らして自分なりの言語観を持つ。	教材：『届く言葉』内田樹 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 全文を正しく音読している。 【知】 自分のことを他者に伝える際、「届く言葉」「届かない言葉」とは、それぞれどういうことか、正確に読み取っている。 【思】 筆者が考える、言葉を通じて他者に届けることの大切さについて読み取っている。 【思】 筆者が理想とする、言葉のあり方や他者理解のあり方について理解している。 【思】 筆者の考えに対して自分なりの考えを持ち、話し合いができる。 【態】 本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 【態】 言葉を通じた他者理解についての筆者の考えに、自らの経験に照らし合わせて自分なりの言語観を持ち、深めている。 【態】 内田樹の他の著作や、「言葉」や「他者」を論じた評論を読むなどして、考察を深めている。	○	○	○	3
B 単元 認識を深める 評論 認識を深める 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の気づきや発見から見えてくるもののあり方や哲学などの事柄について、自分なりに考えを深める。	教材：『今ここにある無数の未知』石川直樹 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 全文を正しく音読している。 【知】 主要な見解をつかむ方法を理解している。筆者が対比的に用いている言葉に注意しながら提示された話題を把握し、論旨に沿って本文を読んでいき、筆者の主張を正確に読み取っている。 【思】 筆者が述べているさまざまな「旅」についての考え方を捉えた上で、「無数の未知を発見する旅」という観点からまとめている。 【態】 本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 【態】 日常の気づきや発見から見えてくるもののあり方や哲学などの事柄について、自分なりに考えを深めている。	○	○	○	5
C 単元 評論 言葉と社会 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉と社会との関わりについて考えを深める。	教材：『言葉は世界を切り分ける』今井むつみ ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 全文を正しく音読している。 【知】 具体例の内容を的確に捉えることは、筆者の抽象的な見解を把握する大きな助けとなることを理解している。 【思】 具体例に当たる部分の内容をまとめ、それがどのようなことを説明するために出された例かを考察している。 【思】 筆者が言葉に対してどのような向き合い方をすべきであると考えているかをまとめている。 【態】 本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 【態】 本文中の例を参考に、自分の知っている身近な例を探し、言葉と社会との関わりについて考えを深めている。	○	○	○	5
定期考査		○	○	○		○	○	○	1
D 単元 評論 自己と他者 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文学作品の解釈における読者の存在の重要性と意義を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本との「対話」を試みることで、自らの読書生活を豊かにする。 ・自らの読書経験の中での「対話」にまつわる経験を振り返る。	教材：『まだ知らない自分に出会う』松村圭一郎 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 全文を正しく音読している。 【知】 本文中の語彙のさまざまな意味を辞書などで調べ、理解している。 【思】 筆者の捉えている「まだ知らない自分に出会う」ということについて理解している。 【思】 筆者の考える「対話」の捉え方を理解している。「対話」について他者に伝わるよう表現を工夫しながら話し合いができる。 【思】 話し合いを通じてグループ内で共通の理解を得られるよう、進行のしかたを工夫している。 【態】 本文中の重要語や慣用語の意味を国語辞典などを用いて調べている。 【態】 本文を踏まえて、創造的な読みを実際に試みている。	○	○	○	6
E 単元 評論 世界を広げる 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の主張とその根拠を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「白紙」や「タブララサ」について考えを深める。	教材：『白』原研哉 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 全文を正しく音読している。 【知】 慣用表現や表記の違いに込められた意図やその効果を理解している。 【思】 筆者のいう「推敲がもたらす質とは異なる、新たな知の基準」について理解している。 【思】 筆者の主張を正しく解釈し、そのように解釈した根拠を説明することができる。 【態】 本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 【態】 「白」がもつ意味について、自分なりの感想をまとめている。	○	○	○	6
定期考査		○	○	○		○	○	○	1

2 学 期	G 単元 評論 言葉と社会 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「経済」と「豊かさ」との対立という観点から、「まちづくり」に対して認識を深める。 ・本文発表後の「まちづくり」をめぐる最新の地域情勢を調べたうえで、経済問題の現況や展望について考察し、意見を述べ合う。	教材：『まちの豊かさとは何か』山崎亮 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	6	
	F 単元 評論 世界を広げる 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文理解に欠かせないキーワードを見つけ、筆者の主要な見解をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張に対して考えを深める。	教材：『「無駄」と進化』中屋敷均 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	3
	H 単元 評論 世界を広げる 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文と引用や資料との関係を正確に捉え、筆者の主張を読み取る。 ・学習済みの『「無駄」と進化』との比べ読みを通して、進化について考察を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文理解を踏まえて、パラダイムシフトについて調べ、考察したことを発表する。	教材：『生物の多様性とは何か』福岡伸一 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査		○	○	○	○	○	○	○	○	1
3 学 期	I 単元 評論 認識を深める 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「他者理解」というテーマについて、筆者の主張を読み取ったうえで、自分の考えを深める。	教材：『不思議な拍手』細馬宏通 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	8
	J 単元 評論 言葉と社会 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れる複数の「時間」を整理し、それぞれの役割について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張に対する自分の考えをもち、適切な表現でまとめる。	教材：『時間と自由の関係について』内山節 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査		○	○	○	○	○	○	○	○	1
3 学 期	K 単元 評論 共に生きる 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「共鳴」というテーマについて、筆者の主張を読み取ったうえで、自分の考えを深める。	教材：『共鳴し引き出される力』伊藤亜紗 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	8
	L 単元 評論 生きる力 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「日常生活」というテーマについて、筆者の主張を読み取ったうえで、自分の考えを深める。	教材：(知)の深化 『庭』山本文緒 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	6
定期考査		○	○	○	○	○	○	○	○	1	
										合計	
										70	

飛鳥 高等学校 令和6年度（1年次用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1 年次 1組～ 6組

使用教科書：（『精選 言語文化』（東京書籍））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語	書	読					
A 単元 文入門／〔児のそら寝〕 【知識及び技能】 ・古語と現代語の違いを理解する。 ・句読点に注意しながら、正しく音読する。 ・歴史的仮名遣いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・傍訳と脚注を参考にしながら、本文の内容を正しく理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文を学習する意義を理解し、古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。	古 ①古文の基礎知識（歴史的仮名遣い、品詞） ②『宇治拾遺物語』『児のそら寝』 ・古語と現代語の違い。 ・音読。 ・歴史的仮名遣い。 ・本文の内容理解。 ・児の心情読み取り。 ③動詞の活用（四・上一・下一・上二・下二） ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 知歴史的仮名遣いを理解したうえで、本文を正しく音読している。 【知】 知古語辞典の使い方を理解している。 【知】 知重要古語の意味を理解している。【思】 傍訳と脚注を参照しながら、僧たちの一連の行動、児の心理の推移などの内容を理解している。 【思】 「児のそら寝」の話のおもしろさについて考え、自分の意見を述べている。 【思】 翻案の手順に従って、『児のそら寝』に基づいた物語を工夫して書いている。 【思】 本文の内容に基づいて、児の心情を「心の中のつぶやき」の形式で表現している。主範読を参考にして、積極的に音読している。 【態】 現代語にはない語や、現代語とは意味の異なる語の意味を、古語辞典を用いて調べている。 【態】 現代語訳に取り組み、説話の内容を理解しようとしている。 【態】 この話のおもしろさについて、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。	○	○	○	13
B 単元 漢文入門／〔推敲〕 漢文の基礎 【知識及び技能】 ・漢文の構造と訓読の方法について理解する。 ・音読を繰り返して訓読に慣れる。 ・「推敲」という言葉の意味と由来を理解する。 ・漢語の構造に日本語と語順が同じものと語順が異なるものがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文訓読によって出来る「漢文脈」について認識する。 ・頻出する漢文の基本構造について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文を学習する意義を認識する。 ・登場人物や時代背景に注意しながら内容を理解する。	①『唐詩記事』『推敲』 ①漢文入門 ・漢文を学習する意義。 ・漢文の構造と訓読の方法。 ・漢語の構造理解。 ②推敲（故事成語） ・訓読。 ・言葉の意味と由来の理解。 ・内容理解。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。 ・音読、現代語訳。 ・「は」の用法など、古典文法の基礎。 ・当時の「夢」についての考え方。 ・「俗」の心情把握。 ③動詞の活用（四・上一・下一・上二・下二） ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 「漢文」とは何かを理解している。 【知】 日常生活で使う漢語について、その構造を理解している。 【知】 漢和辞典の使い方を理解している。 【知】 送り仮名の原則や主な返り点の決まりについて理解している。 【知】 書き下し文の決まりや置き字について理解している。 【知】 主な再読文字の読みと意味について理解している。 【知】 主な返読文字について理解している。 【知】 漢文特有の構造について理解している。 【知】 漢文に特有の語や、否定形の句形について、その読みと意味を理解している。 【知】 話の背景にある科挙制度の概要や当時の詩の役割を理解している。 【知】 「推敲」という言葉の意味と由来を理解している。 【思】 漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 【思】 場面と登場人物の言動を整理し、韓愈の心情を想像しながら自分の考えを述べている。 【態】 範読を聞き、書き下し文を参考にして、積極的に音読している。 【態】 日常使う漢語、格言、成句の意味を漢和辞典で調べ、その由来を調べている。 【態】 返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返している。 【態】 「推敲」という言葉の意味と由来を漢和辞典を用いて調べている。 【態】 韓愈の心情について、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。	○	○	○	6
B 単元 然草 〔丹波に出雲といふ所あり〕 〔今日はそのことをなさんと思へど〕 【知識及び技能】 ・正しく音読し、傍訳と語注を参考にしながら現代語訳ができるようにする。 ・助動詞・助動詞など、古典文法の基礎を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主 題を理解し、時代背景や当時の価値観を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動や心情、または作者の考えなどを的確に捉え、各草段のおもしろさを理解する。	徒 ②『徒然草』『丹波に出雲といふ所あり』『今日はそのことを成さんと思へど』 ・音読、現代語訳。 ・助動詞・助動詞等古典文法の基礎。 ・観念性・抽象性の高い文章の内容を、構成や展開に即して捉える。 ・主題理解。時代背景や当時の価値観の読み取り。 ・和文体・和漢混清文体・説話体の文体の違いの理解 ・登場人物の行動や心情、または作者の考えの理解。 ③動詞の活用（カ変・サ変・ナ変・ラ変） ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 言葉のまとまりを的確に押さえて、正しく音読している。 【知】 重要古語の意味を理解している。 【知】 文法事項を理解している。 【思】 脚注を参照しながら、話の展開を理解している。 【思】 古語の意味を理解し、主語を明らかにして、正確に現代語訳している。 【思】 上人の「丹波」に関する心情や訓戒等を理解し、類末について考えている。 【態】 範読を参考にして、積極的に音読している。 【態】 現代語にはない語や、古今異義語の意味を、古語辞典を用いて調べている。 【態】 脚注を参考にしながら、随筆の内容を積極的に理解しようとしている。 【態】 各挿話の特徴を理解し、現代の人々との違いについて積極的に考えている。	○	○	○	6

飛鳥 高等学校 令和6年度（2年次用）教科 国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 年次 1 組～ 6 組

使用教科書：（探求論理国語（桐原書店））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
1 学期	A 単元 評論Ⅰ 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理展開が明確な評論文の読解を通して、論理展開を丁寧にたどる姿勢と力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「ともに生きる」ことについて、自分自身のあり方も踏まえて理解を深める。	教材：『いのちは誰のものか？』鷲田清一、(知)の深化『晴れた空の下で』江國香織 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。(1)エ 【知】主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、自らの主張に積極的に取り入れている。(2)ア 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を正確に把握している。(1)ア 【思】関連する文章を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を多角的に深めている。(1)オ 【態】本文の内容を踏まえて「いのちは誰のものか」について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	10
	一学期中間考査									
B 単元 論文を読む 【知識及び技能】 ・論文の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を捉え、変身についての筆者の考えを把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・論文の内容をきっかけとして、小説「山月記」に関心を抱く。	教材：『変身に伴う快楽と恐れー「山月記」を通じて』宮原浩二郎 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりとするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。(1)イ 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を正確に把握している。(1)ア 【態】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引用された小説の内容に関心をもち、調べたり読んだりしている。	○	○	○	10	
一学期期末考査										
C 単元 評論Ⅳ 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・心とは何かについて理解を深める。	教材：『ロボットは心を持つか』黒崎政男 『そもそも心とは何か』石黒浩 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。(1)ウ 【思】情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を確実にそろえている。(1)イ 【態】本文内容の正しい理解を踏まえて、心とは何かということについての筆者の考えを収集し、読み手を意識しながらわかりやすく丁寧にレポートにまとめようとしている。	○	○	○	10	
D 単元 境界をこえて 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。	教材：『見えぬものを見るということ』浅田次郎 ・内容や構成、論理の展開を的確に				【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。(1)ウ					

飛鳥 高等学校 令和6年度（2年次用）教科 国語 科目 古文講読2

教科：国語 科目：古文講読2 単位数：2 単位

対象学年組：第 2年次 1組～ 6組

使用教科書：（高等学校精選古典探究（第一学習社））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 古文講読2

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
1 学 期	A 単元：歌物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語における和歌の役割を知って、平安時代の文学への関心を高めさせる。	教材：初冠（伊勢物語） ・それぞれの歌について修辞法を確認する。 ・「男」が着ていた「狩衣の裾」を切り取って歌を書いたのはなぜか、考える。 ・「かくいちはやきみやび」とは「男」のどのような言動を指して言ったものか、説明する。 ・「春日野の……」の歌と「みちのくの……」の歌の類似点・相違点を考える。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ 【思】 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。〔A1〕エ 【態】 粘り強く「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。	○	○	○	8
	B 単元：随筆(一) 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。また、文章に描かれている観念性・抽象性の高い内容を、構成や展開に即して的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 「枕草子」の随想的章段・類聚的章段・日記的章段におけるそれぞれの特色を理解させる。	教材：すさまじきもの（枕草子） ・第二段落では、何が「すさまじきもの」とされているか。まとめる。 ・「ゆるぎありきたるも、いとをかし。すさまじげなり」とはどういうことか。説明する。 ・現代語「すさまじい」の意味を調べ、古語「すさまじ」からの意味変遷の歴史をまとめる。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1〕イ 【態】 「すさまじ」の意味変遷の歴史について進んで調べ、学習の見直しをもって本文理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○	○		
	C 単元：説話 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話が示す教訓性について考察させる。	教材：小式部内侍が大江山の歌の事（古今著聞集） ・「丹後へ遣はしける人は参りたりや」とは、どのようなことを言おうとしたか説明する。 ・「大江山……」の歌で、小式部内侍が伝えようとしたことを説明する。 ・「返歌にも及ばず、袖を引き放ちて、逃げられけり」とは、誰がなぜそのようなしたのか説明する。 ・「大江山」はどのような教訓を示すために収録されていると考えられるか話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ 【思】 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A1〕ウ 【態】 積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	8
D 単元：随筆(二) 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えをまとめさせる。	教材：ゆく河の流れ（方丈記） ・「世の中にある人と栖と、またかくのごとし」について、「人と栖」が何とどのように同じなのか、説明する。 ・「無常」に対する作者の考えについて、説明する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。〔1〕エ 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1〕イ 【態】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	○	○	○	4	
定期考査					○	○	○			
E 単元：日記文学(一) 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 日記を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 回想日記の特質を知って、平安時代の文学への関心を高めさせる。	教材：うつろひたる菊（蜻蛉日記） ・作者の感情が表れている箇所を抜き出し説明する。 ・歌の解釈。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1〕イ 【態】 積極的に作者の心情をとらえ、学習の見直しをもって自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	8	
F 単元：日記文学(二) 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。	教材：東路の道の果て（更級日記） ・物語を読みたいと思う気持ちが表れている表現を順に抜き出す。 ・「人知れずうら泣かれぬ」という作者の気持ちを説明する。				【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1〕イ 【態】 積極的に作者の心情をとらえ、学習の見直しをもって					

	<p>【思考力、判断力、表現力等】 日記を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 回想日記の特質を知って、平安時代の文学への関心を高めさせる。</p>	☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	6
2 学期	定期考査									
	<p>G 単元：物語</p> <p>【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取らせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「源氏物語」の内容や構成に関心をもち、平安時代の物語文学への理解を深めさせる。</p>	<p>教材：光源氏誕生（源氏物語）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帝が「桐壺の更衣」を寵愛することに対し、まわりの人々はどう思ったか、説明する。 ・「一の皇子」と「玉の男皇子」とに対する帝の接し方の違いを説明する。 ・帝・桐壺の更衣・弘徽殿の女御の人物像について考える。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>【思】 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)イ〕</p> <p>【態】 登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>H 単元：物語</p> <p>【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取らせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「源氏物語」の内容や構成に関心をもち、平安時代の物語文学への理解を深めさせる。</p>	<p>教材：若紫（源氏物語）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生ひ立たむ……」と「初草の……」の歌について、「若草」「露」「初草」が何をたとえているか、それぞれの歌は何を訴えようとしているか、説明する。 ・光源氏は「女子」のどこに興味をひかれているのか、説明する。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>【態】 積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査									
3 学期	<p>I 単元：歴史物語</p> <p>【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を、話の展開に即して読み取らせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について考察させる。</p>	<p>教材：花山天皇の出家（大鏡）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さり」と「さる」が指す内容を説明する。 ・花山天皇の出家はどのように行われたのか、道兼の行動に注意しながらまとめる。 ・花山天皇と道兼の人物像をまとめる。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>【態】 登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>N 単元：歴史物語</p> <p>【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を、話の展開に即して読み取らせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について考察させる。</p>	<p>教材：弓争ひ（大鏡）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道長と伊周はそれぞれどのような人物として描かれているか、まとめる。 ・道隆が、「色青く」なったり、「な射そ」と言ったりした理由を考える。 ・「いま二度延べさせ給へ」という発言の真意はどこにあるのか、話し合う。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ</p> <p>【思】 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)イ〕</p> <p>【態】 登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。</p>	○	○	○	6

飛鳥 高等学校 令和6年度（2年次用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語

科目：古典探究

単位数：4 単位

対象学年組：第 2 年次 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 高等学校精選古典探究（第一学習社） ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
B 単元：随筆(一) 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。また、文章に描かれている観念性・抽象性の高い内容を、構成や展開に即して的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 「枕草子」の随想的章段・類聚的章段・日記的章段におけるそれぞれの特色を理解させる。	教材：すさまじきもの（枕草子） ・ 第二段落では、何が「すさまじきもの」とされているか。まとめる。 ・ 「ゆるぎありきたるも、いとをか。すさまじげなり」とはどういうことか。説明する。 ・ 現代語「すさまじい」の意味を調べ、古語「すさまじ」からの意味変遷の歴史をまとめる。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】「すさまじ」の意味変遷の歴史について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	○	○	○	9
C 単元：故事 【知識及び技能】 「嬰逆鱗」「呉越同舟」という言葉の意味と由来を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 比較的短い文章を読み、漢文を読む楽しさを味わわせる。 ・ 故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わわせる。	教材：嬰逆鱗（韓非子）、呉越同舟（孫子） ・ 訓読で教材を朗読する。 ・ 音読みによる直読で教材を朗読する。 ・ 口語訳で教材を朗読する。 ・ 三種類の朗読から受ける印象の違いを話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	【知】時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解している。〔2ウ〕 【思】「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)ク〕 【態】朗読から受ける印象の違いを話し合う活動において、積極的に話し合いに参加している。	○	○	○	12
一学期中間考査									1
A 単元：歌物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語における和歌の役割を知って、平安時代の文学への関心を高めさせる。	教材：初冠（伊勢物語） ・ それぞれの歌について修辞法を確認する。 ・ 「男」が着ていた「狩衣の裾」を切り取って歌を書いたのはなぜか、考える。 ・ 「かくいちはやきみやび」とは「男」のどのような言動を指して言ったものか、説明する。 ・ 「春日野の……」の歌と「みちのくの……」の歌の類似点・相違点を考える。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。〔A(1)エ〕 【態】粘り強く「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。	○	○	○	6
D 単元：説話 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話が示す教訓性について考察させる。	教材：小式部内侍が大江山の歌の事（古今著聞集） ・ 「丹後へ遣はしける人は参りたりや」とは、どのようなことを言おうとしたのか説明する。 ・ 「大江山……」の歌で、小式部内侍が伝えようとしたことを説明する。 ・ 「返歌にも及ばず、袖を引き放ちて、逃げられけり」とは、誰がなぜそのようにしたのか説明する。 ・ 「大江山」はどのような教訓を示すために収録されていると考えられるか話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】読むことにおいて、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A(1)ウ〕 【態】積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	5

1 学期

<p>M 単元：項羽と劉邦</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四面楚歌」に至るまでの経緯を理解させる。 ・中国の歴史叙述の基本形である紀伝体のスタイルについて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高めさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わわせる。 	<p>教材：四面楚歌（史記）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四面楚歌」を読んで、項羽の人間性について考察する。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1イ〕</p> <p>【態】本文から読みとった項羽の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>10</p>
<p>一学期期末考査</p>					
<p>E 単元：随筆(二)</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取らせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えをまとめさせる。</p>	<p>教材：ゆく河の流れ（方丈記）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世の中にある人と栖と、またかくのごとし」について、「人と栖」が何とどのように同じなのか、説明する。 ・「無常」に対する作者の考えについて、説明する。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知】古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。〔1エ〕</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1イ〕</p> <p>【態】進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>12</p>
<p>H 単元：中国の詩</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の生涯やこの詩が作られた背景について理解させる。 ・詩の形式と、押韻・対句などの技巧を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩句に込められた作者の心情を把握させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者が詩で描いた思いについて、話し合いを通して考えを深める。 	<p>教材：絶句・律詩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元内の教材の学習を踏まえて、漢詩の規則を確認する。 ・「春」等の季節をテーマとした七言絶句を作る。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知】古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。〔1エ〕</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。〔A1ア〕</p> <p>【態】漢詩の創作に粘り強く取り組んでいる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>15</p>
<p>二学期中間考査</p>					
<p>G 単元：物語</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取らせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、平安時代の物語文学への理解を深めさせる。</p>	<p>教材：光源氏誕生（源氏物語）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帝が「桐壺の更衣」を寵愛することに対し、まわりの人々はどう思ったか、説明する。 ・「一の皇子」と「玉の男皇子」とに対する帝の接し方の違いを説明する。 ・帝・桐壺の更衣・弘徽殿の女御の人物像について考える。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕</p> <p>【思】「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A1オ〕</p> <p>【態】登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>15</p>
<p>M 単元：不思議な世界</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国の小説による日本文化への影響を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高めさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容をもとに、物語の解釈を自分なりに考察させる。 	<p>教材：酒虫（聊齋志異）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劉氏にとっての酒虫の意味を考えて話し合う。（芥川龍之介の「酒虫」と読み比べて、考えを深める） <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1イ〕</p> <p>【態】本文から読みとった情報を踏まえて、酒虫の意味について、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>12</p>
<p>二学期期末考査</p>					
<p>E 単元：日記(一)</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>日記を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>回想日記の特質を知って、平安時代の文学への関心を高めさせる。</p>	<p>教材：若宮誕生（祭式部日記）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の感情が表れている箇所を抜き出し説明する。 ・歌の解釈。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1イ〕</p> <p>【態】積極的に作者の心情をとらえ、学習の見直しをもって自分の考えを説明しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>10</p>

飛鳥 高等学校 令和6年度（2年次用） 教科 国語 科目 文章表現

教科：国語 科目：文章表現 単位数：2 単位

対象学年組：第 2年次 選択科目

使用教科書：（なし）

副教材：（筑摩書房「ちくま小説入門改訂版」筑摩書房「中高生のための文章読本」京都書房「基礎からの国語表現の実践2訂版」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 文章表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。	論理的に考える力や深く共感する力、豊かな想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、伝え合う力を高める。	言葉の価値への認識を深め、生涯にわたって読書により自己を向上させ、日本の言語文化に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書・読					
長田弘「世界は一冊の本」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また詩の効果的な組み立て方や接続の仕方についてその構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 比喩など作者の使用する表現技法を的確に理解し、作者の思いを読み取り、考えを深める。 表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目・内容 ・さまざまな比喩を見つける。 ・修辞法について理解する。 ・読書の楽しみについて考える。 ・フィクションとノンフィクションの違いについて理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	【知識及び技能】 作品中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 比喩など修辞を理解し、適切に使用することができる。 表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけている。	○	○	○	1
仮名づかい・送り仮名・同音異義語 【知識及び技能】 正しい仮名づかい・送り仮名・同音異義語の使い分けを身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・発音どおりに表記するなどの原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・同音異義の漢字と意味を理解し、身につける。	○	○	【知識及び技能】 正しい仮名づかい・送り仮名・同音異義語の使い分けを身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	○	○	○	1
小説への招待・小説の読解 【知識及び技能】 人物の把握、舞台の設定、人称と語り手、文体、セリフと地の文などについて確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 作中人物の心情の変化、人物相互の関係等の読み取りの重要性を知る。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容の解釈を踏まえて作中人物の心情や行為を積極的に捉えようとする。	指導項目 ・作中人物の行動や心理をもとにストーリーの展開を捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩などの修辞を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	【知識及び技能】 人物の把握、舞台の設定、人称と語り手、文体、セリフと地の文などについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 作中人物の心情の変化、人物相互の関係等の読み取りの重要性を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容の解釈を踏まえて作中人物の心情や行為を積極的に捉えられる。	○	○	○	5
上橋菜穂子「物語ること、生きること」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 副教材の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、構成の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝える。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 副教材の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、構成の仕方を工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えられる。	○	○	○	2

1 学 期	<p>同訓異字・類義語・慣用表現 【知識及び技能】 同訓異字・類義語・慣用表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>指導項目 ・同訓異字の使い分けを理解し、身につける。 ・類義語について理解し、身につける。 ・慣用表現の意味を理解し、身につける。</p>	○	○	<p>同訓異字・類義語・慣用表現 【知識及び技能】 同訓異字・類義語・慣用表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。</p>	○	○	○	1	
	定期考査					○	○		1	
	<p>星新一「ポッコちゃん」 角田光代「ふたり」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、またショートショート・短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。ショートショートを書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、またショートショートの物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ショートショートのテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。ショートショートを書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	○	4
	<p>瀧本哲史「ナイチンゲールと統計学」 岡田美智男「弱いロボット」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	○	4
	<p>正しい敬語・文の乱れ・推敲 【知識及び技能】 正しい敬語・文の乱れへの注意・推敲の仕方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>指導項目 ・敬語の原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・文の乱れと修正方法を理解し、身につける。</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 正しい敬語・文の乱れへの注意・推敲の仕方を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書けた。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できた。</p>	○	○	○	1	
	<p>文を短く・的確な表現・文体への意識 【知識及び技能】 文を短くする・的確な表現・文体を意識する態度を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>指導項目 ・文章表現の原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・文の乱れと修正方法を理解し、身につける。</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 文を短くする・的確な表現・文体を意識する態度を身につけられる。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。</p>	○	○	○	1	
	<p>稲葉真弓「唇に小さな春を」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	○	2
	定期考査					○	○		1	

<p>穂村弘「麦わら帽子のへこみ」</p> <p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	○	2
<p>半村良「箏笛」 小池昌代「とよどよ」</p> <p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	○	4
<p>文の役割・要約・接続詞</p> <p>【知識及び技能】 文の役割、要約する技術、接続詞の使い分けを身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章表現の原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・文の乱れと修正方法を理解し、身につける。 	○	○		<p>【知識及び技能】 文の役割、要約する技術、接続詞の使い分けを身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。</p>	○	○	○	1
<p>郡司芽久「キリン解剖記」 伊藤亜紗「体、この不気味なもの」</p> <p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	○	4
<p>段落分け・主題・構想・書く</p> <p>【知識及び技能】 文章作成の実際について技術を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章表現の原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・文の乱れと修正方法を理解し、身につける。 	○	○		<p>【知識及び技能】 文章作成の実際について技術を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。</p>	○	○	○	1
<p>定期考査</p>						○	○		1

<p>中村文則「郵便局で」 小川洋子「ひよこトラック」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	○	4
<p>水野敬也「顔ニモ負ケズ」 オードリー・ダン「ジェンダーから自由になる」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	○	4
<p>萩尾望都「柳の木」 吉本ばなな「満月」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	○	4
<p>海老原宏美「わたしが障害者じゃなくなる日」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	○	2
<p>定期考査</p>						○	○		1

3 学 期	氷室冨子「なんて素敵にジャパネスク」 村上春樹「四月のある晴れた朝に100パーセントの女の子に出会うことについて」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○ ○ ○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。	○ ○ ○	4
	ブレイディみかこ「君たちは社会を信じられるか」 菅野仁「友だち幻想」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○ ○ ○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。	○ ○ ○	4
	E・A・ポー「黒猫」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○ ○ ○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。	○ ○ ○	3
	「評論と楽しく付き合う4つのコツ」 菅野一徳「読書は僕たちをグーグルマップにする」 「読書の手引き」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○ ○ ○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。	○ ○ ○	4
	発表 創作・評論・プレゼンテーションなどから形式を選び、発表を行う。お互いに良い所を褒め合う。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○ ○ ○	他者の発表のよいところを発見し、認められるか。	○ ○ ○	2
	定期考査				○ ○ ○	1
						合計 70

飛鳥 高等学校 令和6年度（3年次用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第3年次 1組～6組

使用教科書：（探求論理国語（桐原書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元 評論V 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理展開が明確な評論文の読解を通して、論理展開を丁寧にたどる姿勢と力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地図を通して、自分の世界や社会に対するイメージを明確にする。	教材：『地図の想像力』若林幹夫 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】(1)ウ 文や文章の効果的な組み立て方 や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【知】(1)エ 効果的な段落の構造や論の形式 など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用 している。 【思】(1)ア 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を正確に把握している。 【思】(1)オ 書き手の立場や目的を考えながら、内容の 解釈を多角的に深めている。 【態】本文内容を踏まえて、自分の帰 属する社会だけでなく、さまざまな 社会との関わりを具体的に意識 し、自分の世界や社会に対するイメージを明確にしなが「世界イメージ」としての地図を作ろうとしている。	○	○	○	5
B 単元 評論解析C 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・効果的な表現から文脈を捉え、論理の展開や筆者の主要な見解をつかむ。	教材：『権力にまつわる「秘密」』萱野稔人 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。(1)イ 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を正確に把握している。(1)ア 【態】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引 用された小説の内容に関心をもち、調べたり読んだりしている。	○	○	○	6
1 学期 一学期中間考査									1
C 単元 評論I 【知識及び技能】 ・二項対立による比較対照に着目し、評論の読み方に習熟する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・視覚でものを捉えるときの感覚的喜びを理解する。【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張を踏まえて、自分自身が 芸術に触れる際の感性を磨く。	教材：『オブジェとイメージ』高階秀爾 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。(1)イ 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を正確に把握している。(1)ア 【態】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引 用された絵画作品等に関心をもち、調べたり鑑賞したりしている。	○	○	○	5
D 単元 単元 評論I 【知識及び技能】 ・論文の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を捉え、変身についての筆者の考えを把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間が生きることについて、死と	教材：『人間の領域』日高敏隆 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かに	○	○	○	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。(1)イ 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を正確に把握している。(1)ア 【態】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引 用された絵画作品等に関心をもち、	○	○	○	6

飛鳥 高等学校 令和6年度（3年次用） 教科 国語 科目 現代文演習

教科：国語 科目：現代文演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3年次 1組～6組

使用教科書：（探求論理国語（桐原書店））

副教材：（三訂版 大学入試 共通テスト演習 現代文（いづな書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 現代文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A単元 論理的な文章・文学的な文章 【知識及び技能】 ・論理的な文章・文学的な文章の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・得られた情報を多面的・多角的な視点から解釈したり、複数の題材による問題を繰り返し演習することによって、大学受験に対応できる読解力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習した評論家や作家の別な文章を読むなど、自ら読書の幅を広げる姿勢を身につける。	（論理的な文章）第1・2回 （文学的な文章）第1・2回 ・内容説明、理由説明、構成、表現説明、異なる種類や分野の文章などを組み合わせた問題演習に取り組む。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 本文の内容に関する情報を収集し、自分の意見をまとめて発表する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知識・技能】 ・本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の接続について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を正確に把握している。 ・ 本文と他の文章や図表の関係性を読み取ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 本文の内容を踏まえて、必要な情報を収集し更に理解を深めようとしたり、登場人物の立場や心情を正確に理解しようとしたりと自分と社会、他者との関りを感じようとしている。	○	○	○	13
	一学期中間考査									1
	B単元 論理的な文章・文学的な文章 【知識及び技能】 ・論理的な文章・文学的な文章の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・得られた情報を多面的・多角的な視点から解釈したり、複数の題材による問題を繰り返し演習することによって、大学受験に対応できる読解力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習した評論家や作家の別な文章を読むなど、自ら読書の幅を広げる姿勢を身につける。	（論理的な文章）第3・4回 （文学的な文章）第3・4回 ・内容説明、理由説明、構成、表現説明、異なる種類や分野の文章などを組み合わせた問題演習に取り組む。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 本文の内容に関する情報を収集し、自分の意見をまとめて発表する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知識・技能】 ・本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の接続について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を正確に把握している。 ・ 本文と他の文章や図表の関係性を読み取ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 本文の内容を踏まえて、必要な情報を収集し更に理解を深めようとしたり、登場人物の立場や心情を正確に理解しようとしたりと自分と社会、他者との関りを感じようとしている。	○	○	○	13
一学期期末考査									1	
2 学 期	C単元 論理的な文章・文学的な文章 【知識及び技能】 ・論理的な文章・文学的な文章の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・得られた情報を多面的・多角的な視点から解釈したり、複数の題材による問題を繰り返し演習することによって、大学受験に対応できる読解力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習した評論家や作家の別な文章を読むなど、自ら読書の幅を広げる姿勢を身につける。	（論理的な文章）第5・6回 （文学的な文章）第5・6回 ・内容説明、理由説明、構成、表現説明、異なる種類や分野の文章などを組み合わせた問題演習に取り組む。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 本文の内容に関する情報を収集し、自分の意見をまとめて発表する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知識・技能】 ・本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の接続について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を正確に把握している。 ・ 本文と他の文章や図表の関係性を読み取ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 本文の内容を踏まえて、必要な情報を収集し更に理解を深めようとしたり、登場人物の立場や心情を正確に理解しようとしたりと自分と社会、他者との関りを感じようとしている。	○	○	○	15
	二学期中間考査								1	
	D単元 論理的な文章・文学的な文章 【知識及び技能】 ・論理的な文章・文学的な文章の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・得られた情報を多面的・多角的な	（論理的な文章）第7・8回 （文学的な文章）第7・8回 ・内容説明、理由説明、構成、表現説明、異なる種類や分野の文章などを組み合わせた問題演習に取り組む。				【知識・技能】 ・本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の接続について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、				

飛鳥 高等学校 令和6年度（3年次用） 教科 国語 科目 古文講読3

教科： 国語 科目： 古文講読3 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3年次 1組～ 6組

使用教科書： （ 高等学校古典探究（数研出版） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 古文講読3 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
		話・書	聞	読					
A 単元：随筆 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明させる。	教材：二月のつごもりごろに（枕草子） ・「宰相の御いらへを……心一つに苦しきを」について、ここで作者が配慮していることは何か、説明する。 ・「なほ内侍に奏してなむ」とは、誰をどのように評しているのか、説明する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	6
B 単元：評論 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論を読んで、筆者の物語やその作者に対する筆者の評価や批判を読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に本文の内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	教材：清少納言と紫式部（無名草子） ・清少納言が地方に落ちぶれたことについて、筆者はなぜそうなったと考えているか、まとめる。 ・紫式部が『源氏物語』を執筆する経緯について、どのように述べられているか、まとめる。 ・筆者は紫式部をどのような人物と捉えているか、まとめる。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 積極的に本文の内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	6
定期考査						○	○	○	
1 学 期 C 単元：日記文学 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加させる。	教材：うつろひたる菊（蜻蛉日記） ・作者と兼家との間にどのようなことが起こったのか、時間を追って整理する。 ・「嘆きつつ……」の歌を「例よりはひきつくるひて書いて、うつろひたる菊にさし」で贈った作者の気持ちについて話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】 「読むこと」において、文の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	4
D 単元：日記文学 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加させる。	教材：水鳥の足（紫式部日記） ・「思ふことの少しもなのめなる身ならましかば、すさずさしくもてなし、若やぎて、つねなき世をも過くしてまし」という反実仮想の表現から、現実が作者がどのような状態にいるのかを考える。 ・作者は、水鳥と自分を比較してどのような感慨を持ったのか話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	4
E 単元：日記文学 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や天下を把握し、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加させる。	教材：薫る香に（和泉式部日記） ・作者が「薫る香に……」の歌を帥宮に贈ったのはどういう気持ちからか、考える。 ・「同じ枝に……」の歌の「同じ枝」「ほととぎす」「声は変はらぬ」という表現がどういう意味を持って使われているか、考える。 ・「うち出ででも……」「今日のまの……」の贈答歌について、それぞれの歌に込められた気持ちを説明する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	4
定期考査						○	○	○	
F 単元：物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語を読んで、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えをまとめさせる。	教材：車争ひ（源氏物語） ・本文中から、光源氏に対する六条御息所の思いが読み取れる箇所をあげて、その心情を説明する。 ・本文中から、六条御息所・葵の上・光源氏の従者たちの言動が描写された箇所をあげて、その内容を説明する。 ・「雀の隈にだにあらねばにや……」について、『古今和歌集』神遊びの歌の引用がどのような効果を与えているか、調べてまとめる。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。〔A(1)イ〕 【態】 粘り強く引き歌の効果について考察し、今までの学習を生かして調べたことをまとめようとしている。	○	○	○	2

飛鳥 高等学校 令和6年度（3年次用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：4 単位

対象学年組：第 3 年次 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 高等学校古典探究（数研出版） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
A 単元：随筆(一) 【知識及び技能】 ・日記的章段の特色を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取らせる。	教材：「宮に初めて参りたるころ」「二月つごもりごろに」（枕草子） ・作者は中宮定子をどのような人物だと感じたか。説明する。 ・「葛城の神もしばし」という定子の発言の意図を考える。 ・周囲の女房たちはこの頃の清少納言をどのように見ていたか、本文をもとに話し合う。 ・「宰相の御いらへを……心一つに苦しきを」について、ここで作者が配慮していることは何か。説明する。 ・「なほ内侍に奏してなきむ」とは、誰をどのように評しているのか。説明する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】周囲の女房たちの心情について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	14
B 単元：評論 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えをまとめさせる。	教材：「清少納言と紫式部」（無名草子） ・清少納言が地方に落ちぶれたことについて、筆者はなぜそうなったと考えているか、まとめろ。 ・紫式部が『源氏物語』を執筆する経緯について、どのように述べられているか、まとめろ。 ・筆者は紫式部をどのような人物と捉えているか、まとめろ。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】積極的に本文の内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	12
C 単元：説話 【知識及び技能】 ・「知音」という言葉の意味と由来を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文を読む楽しみを味わわせる。 ・故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わわせる。	教材：「知音」（呂氏春秋） ・この逸話から生まれた成語である「知音」は、現在どのような意味で使われているか、調べろ。 ・伯牙が「破琴絶絃、終身不復鼓琴」としたのはなぜか、考える。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】伯牙が琴を弾くことをやめた理由について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	○	○	○	12
一学期中間考査									
1 学期 D 単元：物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】	教材：「紫の上の苦惱」「柏木と女三の宮」（源氏物語） ・「目に近く……」の歌と「命こそ……」の歌は、それぞれどのような思いを詠んでいるのか、説明する。 ・この文章の中で、光源氏は紫の上についてどのように思っているか、まとめろ。 ・この文章で語られる紫の上の苦惱				【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。				

<p>「源氏物語」の内容や構成に関心をもち、平安時代の物語文学への理解を深めさせる。</p>	<p>とはどのようなものか、説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏木の、女三の宮への思いがどのように描かれているか、整理する。 ・この場面での女三の宮の女房たちの行動とそのありようをまとめる。 <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○		○	○	○	14
<p>E 単元：近世随筆 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えをまとめさせる。</p>	<p>教材：「師の説になづまざること」(玉勝間) ・筆者は「わが師の心」をどのように受け取っているか、まとめる。 ・筆者は「学問の道」をどのように理解し、どのように対するのがよいと考えているか、まとめる。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って筆者の主張を説明しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>F 単元：史伝 【知識及び技能】 ・作者の生涯やこの作品が作られた背景について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品から読み取れる司馬遷の心情を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者が理想とする生き方について考えさせる。</p>	<p>教材：「天道は是非か」(史記) ・伯夷・叔斉の作った歌には、自分たちの運命に対するどのような気持ちが含まれているか考える。 ・夏から殷、殷から周という王朝交代の経緯を調べてまとめる。 ・司馬遷は顔淵と盗跖を何の例としてあげているか説明する。 ・「天道は是非邪」には、司馬遷のどのような気持ちが込められているか考える。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】末尾の「天道は邪非邪」という表現にこめられた司馬遷の思いについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>一学期期末考査</p>									
<p>【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を、話の展開に即して読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について考察させる。</p>	<p>教材：「貫之と躬恒」「道真と時平」(大鏡) ・「照る月を……」「白雲の……」の歌から掛詞・縁語を指摘する。 ・本文中の和歌三首は、それぞれどのような点が評価されているのか説明する。 ・本文では醍醐天皇をどのような人物として描いているのか考える。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。〔1エ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>H 単元：文章 【知識及び技能】 ・本文中の比喩的な表現について、その意味と効果を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について考察させる。</p>	<p>教材：「師説」(韓愈) ・「子を愛する親」「巫医・楽師・百工などの専門技術者」「孔子(聖人)」らについて、それぞれの「師」に対する考え方を整理する。 ・韓愈の考える「師」とはどのような人か、説明する。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。</p>	○	○	○	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】韓愈の考える「師」とはどのような人かについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>二学期中間考査</p>									
<p>I 単元：日記文学 【知識及び技能】 ・日記を読んで、人間、文学、社会などに対する作者のものの考え方や感じ方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・回想日記の特質を知って、女流日記文学への関心を高めさせる。</p>	<p>教材：「うつろひたる菊」(蜻蛉日記) 「同僚女房評」(紫式部日記) 「薫る香に」(和泉式部日記) ・作者と兼家との間にどのようなことが起こったのか、時間を追って整理する。 ・「嘆きつつ……」の歌を「例よりはひきつくるひて書きて、うつろひたる菊にさし」で贈った作者の気持ちについて話し合う。 ・和泉式部・赤染衛門・清少納言について、作者の考えをまとめる。</p>	○	○	○	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	○	○	○	

飛鳥 高等学校 令和6年度（3年次用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：4 単位

対象学年組：第3年次 選択科目

使用教科書：（高等学校標準文学国語（第一学習社））

副教材：（パスポート国語必携（桐原書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 また、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感し豊かに想像する力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めている。 また、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
いしいしんじ「調律師のるみ子さん」 【知識及び技能】 文学的文章の種類や特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開、場面設定や描写のしかた、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 作品意関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	指導項目・内容 ・本文からうかがえる人物像について考える。 ・作品中に登場するものが、物語の展開の上でどういう意味を持っているか整理する。 ・本文中にある、ピアノの音を表現した部分について、主人公のどのような心理を反映しているか考察する。 ・老人のセリフや態度から、主人公の調律に何を求めていたかを話し合う。	○	○	○	【知識及び技能】 作品中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 抜き出したりまとめることで、内容を整理し、理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にまとめたり発表したりすることができる。	○	○	○	10
芥川龍之介「鼻」 【知識及び技能】 文学的文章の種類や特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開、場面設定の描写のしかた、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連する事項について調べ、その成果を文章にまとめる等行う。	指導項目 ・主人公の人物や性格についてまとめる。 ・主人公の心情の移り変わりをまとめる。 ・主人公の周囲に対する態度が、鼻の長短でどのように異なるかをまとめる。 ・弟子たちの心情や態度を整理する。	○	○	○	【知識及び技能】 人物の把握、舞台の設定、人称と語り手、文体、時代背景などについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 作中人物の心情の変化、人物相互の関係等の読み取りの重要性を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容の解釈を踏まえて作中人物の心情や行為を積極的に捉えられる。	○	○	○	10
原田マハ「真珠の耳飾りの少女」 【知識及び技能】 文学的文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈をする。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。	指導項目 ・絵を現実の人であるかのように表した表現を抜き出し、そこにこめられた筆者の気持ちを説明する。 ・絵と向き合った後の記述から、筆者の絵に対する解釈を整理する。 ・絵の特徴として、記述内容の相違について考える。 ・筆者の立場の違いについて考察する。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 副教材の課題について、積極的に取り組み、語彙力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを発表できる。	○	○	○	10
1 定期考査						○	○		1

学期	<p>井上ひさし「ナイン」</p> <p>【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、人間や社会に対するものの見方、感じ方を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 作者や作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の今と昔の移り変わりや、人と街のあり方という二つの側面から整理する。 一人の発言から、周囲の登場人物はどのように受け止めたかをまとめる。 少年野球大会の決勝戦は、その後の人生にとってどのような意味を持っているのかを考え、発表する。 	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また、物語展開等について、その構造や特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の気持ちを理解し、考えを深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 整理や発表に、積極的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	12
	<p>志賀直哉「清兵衛と瓢箪」</p> <p>【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 主人公が瓢箪に夢中になっている様子を示す挿話をまとめる。 冒頭と結末を除いた部分を四つの段落に分ける。 瓢箪の異なる価格を比べ、その理由について整理する。 主人公に対して教員と父が怒った理由をまとめる。 小説の冒頭と結末に、「今」の清兵衛を説明する文章が、物語上どのような効果があるかをまとめる。 	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 小説の登場人物の気持ちを整理し、考えを深められる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 登場人物や展開を整理し、まとめたり発表したりする力をつける。</p>	○	○	○	10
	<p>谷川俊太郎「死んだ男の残したものは」</p> <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめる。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 詩の音感とリズムに留意し、繰り返し音読する。 最初の三連のつながりを考慮しつつ、「残した男」と「残さなかった男」の意味するところを説明する。 最初の三連と第四連との違いを指摘し、その理由を考える。 第五連と最終連に込められた思いを話し合う。 	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、またリズムや連のつながりについて、その特色を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 詩の内容を読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 話し合った内容から、さらに自分の考えを深める。</p>	○	○	○	10
定期考査						○	○		1

<p>原民喜「夏の花」</p> <p>【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法や解釈の多様性を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連ある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公が移動した経路を、当時の地図を参考に推測する。 ・主人公が目撃した光景について、場面ごとに整理する。 ・この小説が主人公の墓参りから始まり、「N」が妻を探す場面で終わっていることで、構成上の効果を考える。 ・この作品の描写の特徴をあげ、それがどのような効果をあげているか、話し合う。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>12</p>
<p>米原真理「バグダッドの靴磨き」</p> <p>【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 もの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連ある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物と心情の変化について、時間軸に沿ってまとめる。 ・さまざまなドルの金額はどのような意味を持つか。登場人物の立場の違いから整理する。 ・最後の発言から、「人」とは何を意味するかを考える。 ・小説内の「お客さん」の存在は、どのような効果を生み出しているか、話し合う。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 小説のテーマを読み取り、考えを深められる。この小説について話し合える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 内容理解のために整理したり、話し合いや発表に対して積極的に取り組める。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>10</p>
<p>角田光代「旅する本」</p> <p>【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連ある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物と心情の変化について、時間軸に沿ってまとめる。 ・さまざまなドルの金額はどのような意味を持つか。登場人物の立場の違いから整理する。 ・最後の発言から、「人」とは何を意味するかを考える。 ・小説内の「お客さん」の存在は、どのような効果を生み出しているか、話し合う。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識および技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 小説のテーマを読み取り、考えを深められる。この小説について話し合える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 内容理解のために整理したり、話し合いや発表に対して積極的に取り組める。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>10</p>
<p>定期考査</p>				<p>○ ○</p>	<p>2</p>

2 学 期	江国香織「デューク」 【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。	指導項目 ・時間軸に沿って主人公の行動を整理し、それぞれの場面で主人公の心情がどのように変化しているかまとめる。 ・主人公が連れられて行ったプールでの出来事は、この作品の展開上どのような効果があるか。まとめる。 ・主人公の悲しみが表現されている部分をあげ、どういう悲しみを整理する。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 主人公の心情の変化や場面転換の理解を深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合いやまとめを積極的に行う。	○	○	○	10
	中島京子「富岳百景」 【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品によるものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。	指導項目 ・元になった太宰治も『富嶽百景』が、作品にどのように生かされているか、比較する。 ・主人公が、初めは言い切っていた内容を、後に問わざるを得なくなった理由を考え、まとめる。 ・本文中で話材として使われたり、引用されたりした文芸関連の作品の中で、興味を持ったものを選んで調査する。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の構成、登場する作品について調べ、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連するものを積極的に調査し、まとめたり発表したりする。	○	○	○	10
	山田詠美「ひよこの眼」 【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開、場面設定や描写のしかた、表現の特色などを的確に捉え、解釈の多様性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。	指導項目 ・主人公の幹生に対する心情の変化をまとめる。 ・幹生が死を見つめていることを示す表現を抜き出して整理する。 ・書き出しと結末の段落に注意して、この小説の構成をまとめる。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 小説の内容を理解し、考えを深められる。この小説について話し合える。 【学びに向かう力、人間性等】 小説を深く理解することや、内容のまとめや発表に積極的に参加する。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		2

飛鳥 高等学校 令和6年度(23年次用) 教科 国語 科目 劇表現

教科: 国語 科目: 劇表現 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 23 年次 1 組 ~ 6 組

使用教科書: (なし)

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深め

科目 劇表現 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能(コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力)を身に付ける。	演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。	演劇を通して、あらゆる個人や集団(自分も他者も)の可能性を信じ、追求する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 導入 【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能(コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力)を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団(自分も他者も)の可能性を信じ、追求する態度を養う。	受信発信系、信頼協力系、洞察系、瞬発力発想系、創造系、各種シアターゲームで体と心をほぐし、マイズナーテクニックを行う準備、表現者になるための準備をする。 *各種シアターゲームは今後毎回授業の初めにウォーミングアップとして行う。	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能(コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力)を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団(自分も他者も)の可能性を信じ、追求する態度になっている。	○	○	○	14
	B 単元 マイズナーテクニックⅠ 【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能(コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力)を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団(自分も他者も)の可能性を信じ、追求する態度を養う。	各種シアターゲーム。マイズナーテクニック(繰返し)を行い、自分の課題を認識し、それぞれのペースでその課題に立ち向かう。	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能(コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力)を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団(自分も他者も)の可能性を信じ、追求する態度になっている。	○	○	○	14
	C 単元 マイズナーテクニックⅡと台本 【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能(コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力)を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団(自分も他者も)の可能性を信じ、追求する態度を養う。	各種シアターゲーム。マイズナーテクニック(繰返し)に新たな負荷(アクティビティ)を加えた繰返しを行う。台本を渡し読みし、セリフを覚える。	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能(コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力)を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団(自分も他者も)の可能性を信じ、追求する態度になっている。	○	○	○	9
2 学 期	D 単元 マイズナーテクニックⅢと台本 【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能(コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力)を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団(自分も他者も)の可能性を信じ、追求する態度を養う。	各種シアターゲーム。マイズナーテクニック(繰返し)に新たな負荷(イマジナリーサーカムスタンス)を加えた繰返しを行い、台本の立ち稽古を行う。	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能(コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力)を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団(自分も他者も)の可能性を信じ、追求する態度になっている。	○	○	○	9
	E 単元 台本稽古 【知識及び技能】	各種シアターゲーム。マイズナーテクニック(繰返し)は	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生か				

<p>演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力，判断力，表現力を育成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。</p>	<p>ウォーミングアップとして行い、台本稽古をメインに行う。</p>	<p>し、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力，判断力，表現力が育成されている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。</p>	○	○	○	10
---	------------------------------------	---	---	---	---	----

3 学 期	<p>F 単元 本番</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>演劇を通して創造的な思考力，判断力，表現力を育成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。</p>	<p>稽古の成果を発表する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>演劇を通して創造的な思考力，判断力，表現力が育成されている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。</p>	○	○	○	14
						合計	70

飛鳥 高等学校 令和6年度(3年次用) 教科 国語 科目 演劇論

教科: 国語

科目: 演劇論

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 年次 1 組 ~ 6 組

使用教科書: (なし)

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深め、

科目 演劇論

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。	演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。	演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
1 学期	A 単元 導入 【知識及び技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。	・呼吸法トレーニング ・発声法トレーニング ・身体表現トレーニング ・感情表現トレーニング ・演技トレーニング ・アクショントレーニング ・キャラクター作り ・セリフ作り ・シナプソロジーゲーム ・インプ로그램 ・演劇史				出席・授業参加・授業態度・実技・レポート等 【知識・技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度になっている。	○	○	○	14
	B 単元 実技課題Ⅰ 【知識及び技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。	・エチュード(即興劇・練習劇) ・演技メソッド ・台本劇				出席・授業参加・授業態度・実技・レポート等 【知識・技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度になっている。	○	○	○	14
2 学期	C 単元 実技課題Ⅱ 【知識及び技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。	・各種トレーニング ・殺陣 ・剣術 ・立ち回り				出席・授業参加・授業態度・実技・レポート等 【知識・技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度になっている。	○	○	○	16
	D 単元 実技課題Ⅲ 【知識及び技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。	・エチュード(即興劇・練習劇) ・演技メソッド ・台本劇				出席・授業参加・授業態度・実技・レポート等 【知識・技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度になっている。	○	○	○	16
3 学	D 単元 実技課題Ⅲ 【知識及び技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。	・各種トレーニング ・殺陣 ・剣術 ・立ち回り				出席・授業参加・授業態度・実技・レポート等 【知識・技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度になっている。	○	○	○	10

